

岩手県立盛岡工業高等学校 DX体験学習会・けんせつ小町部会との意見交換会 を開催しました

建設技術振興課

岩手県と東北地方整備局岩手河川国道事務所では、建設業の担い手確保に向けて、建設業の次世代を担う学生に対し、建設業の仕事内容や社会における役割等への理解や関心を深め、建設業で働く魅力を伝えるため、令和7年1月27日に岩手県立盛岡工業高等学校土木科2年生（25名）を対象に、「DX体験学習会」と「けんせつ小町部会との意見交換会」を開催しました。

DX体験学習会

東北地方整備局岩手河川国道事務所によるVR（仮想現実）体験とMR（複合現実）体験を開催しました。建設現場等で活用されるデジタル技術を生徒の皆さんに実際に体験していただき、建設現場におけるDX推進の取組についてPRしました。



VR体験の様子
(2種類のVRと1種類のMRを体験)



ゴーグルを通して見える画面
(道路をドローンで撮影した映像)

けんせつ小町部会との意見交換会

DX体験学習会に続いて、けんせつ小町部会との意見交換を開催しました。意見交換会では、「魅力ある建設業に向けて」をテーマに生徒が考える建設業のイメージや就職活動で重視すること等を意見交換しました。実際に建設企業で働く方々からは生徒に対し、建設業での働き方（休み・給料等）や就職に向けたアドバイスに関するお話がありました。

生徒からは積極的に質問もあり、建設業のイメージアップに向けたとても有意義な時間となりました。

～生徒からの感想～

- 建設業の仕事は**重労働**で**きついイメージ**だったが、そのようなことはなく、**地域に貢献できる仕事**とわかった。
- **給料が少なく、休みが少ない**と思っていたが、**週休2日が推進**され、**趣味の時間も確保**できることがわかった。
- 建設業について、初めて知ることもあり、**3K**というイメージが変わった。



意見交換会の様子